

吉備高原の未侵食地形
八丁畷の準平原面



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	はっちょうなわたのじゅんへいげんめん
所在地	吉備中央町吉川
指定年月日	昭和31年4月17日
解説	準平原とは、おもに河川の侵食作用が長期間続き、しかも地盤運動があまりみられない場合にできる平たんでやや波状の小起伏のある地形である。500万年前頃にできた「中国準平原」とよばれる平原が隆起し吉備高原が誕生した。その平原面は侵食によって原形を失ったが、この地のみ侵食を受けずに太古からの地形が残されている。
アクセス方法	賀陽インターから車で10分
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	八丁畷の準平原面
よみかた	はっちょうなわたのじゅんへいげんめん
しょざいち (所在地)	吉備中央町吉川
していたひ (指定した日)	昭和31年4月17日
せつめい	およそ500万年前にできた中国地方(ちゅうごくちほう)の平原(へいげん)が、地かく変動(へんどう)でもり上(あ)がり、吉備高原(きびこうげん)ができあがりました。まわりの平(たい)らなところは川の流(なが)れなどによって地形(ちけい)が変(か)わっていきましたが、この場所(ばしょ)はそのままの地形で大むかしからそのまま残(のこ)っています。